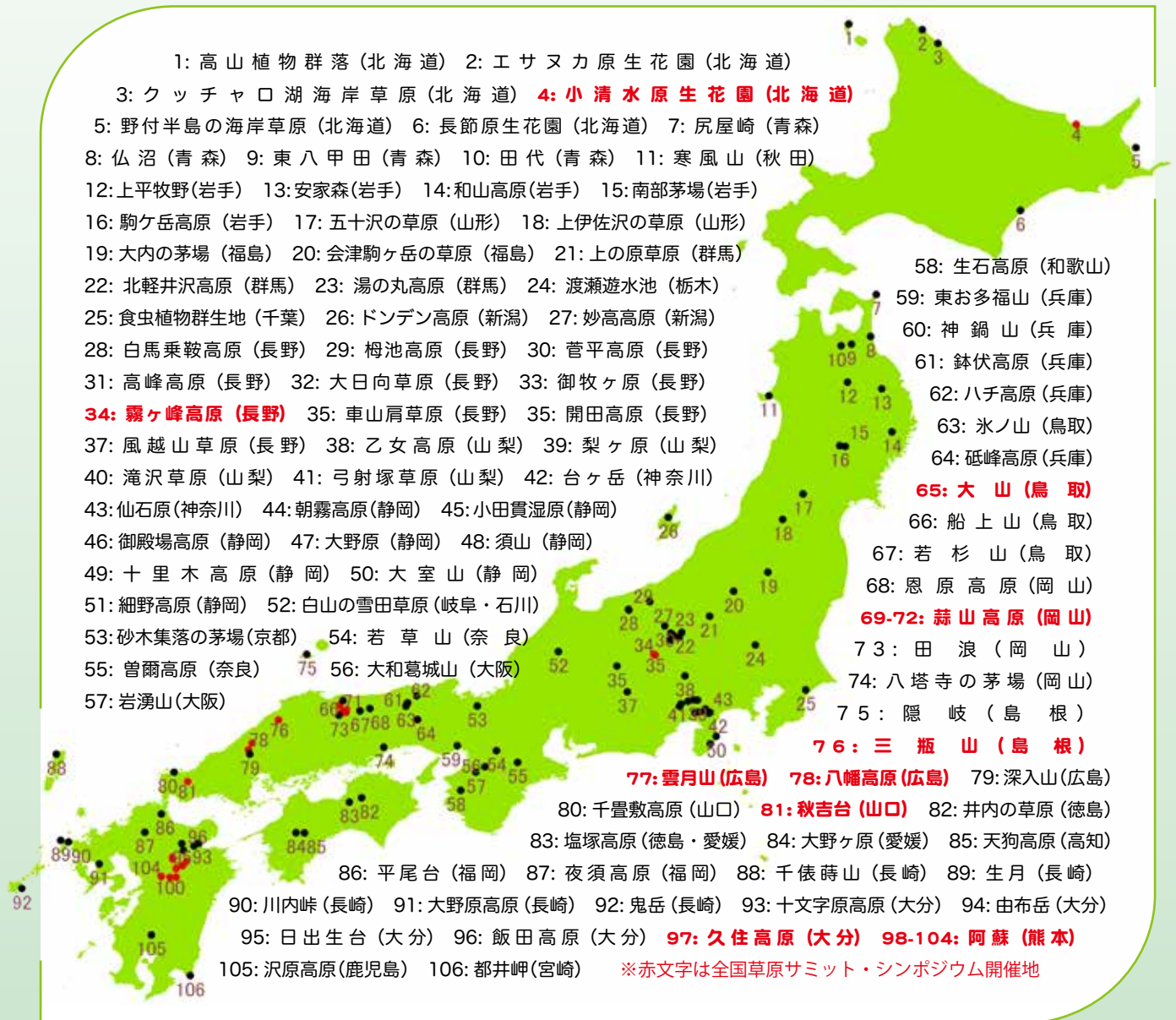


# 全国草原サミット・シンポジウムのあゆみ

## 草原の保全・再生に向けた、地域間連携の歴史



全国草原マップ



全国草原再生ネットワーク

<http://sogen-net.jp/>

## 久住高原野焼きシンポジウム・全国野焼きサミット

—野焼きボランティア参加の可能性と未来—

開催日：1995年3月4日 開催地：大分県久住町

### シンポジウム

**開会挨拶：**二宮正和(大分県保健環境部長)・衛藤龍天(久住町長)

**基調講演：**「滅びゆく日本の草原」

沼田 真((財)日本自然保護協会会長)

**各地からの報告：**

**小清水原生花園(北海道)からの報告**

辻井達一(北海道大学農学部農林生態学教室教授)

**三瓶山(島根県太田市)からの報告**

高橋佳孝(農林水産省中国農業試験場畜産部主任研究官)

**秋吉台(山口県)からの報告**

永嶺克博(秋吉台梨生産販売協同組合総務理事)

**阿蘇(熊本県)からの報告**

大滝典雄(熊本大学非常勤講師)

**座談会：**「草原の意義とその維持のための課題」

瀬田信哉((財)自然公園美化管理財団)・筑紫哲也(ジャーナリスト)・佐藤 孝(久住町稲葉牧野組合)

### サミット出席者(所属等)

郷 英一(阿蘇町助役)・山部今朝則(一の宮町助役)・清水武人(美東町助役)・上礼礼昭(秋芳町助役)・甲斐政徳(産山村助役)・佐藤洋一(南小国町収入役)・河合淳(小清水町助役)

**主催：**羅針盤

**事務局：**羅針盤

## 草原シンポジウム'97・第2回全国草原サミット

—草原の意義と生業による維持保全管理—

開催日：1997年10月3日～5日 開催地：島根県大田市

### シンポジウム

**開会挨拶：**熊谷國彦(大田市長)

**基調講演：**循環・共生・参加のふるさとづくり

佐藤 誠(熊本大学教育学部教授)

**各地からの報告：**

**兵庫県村岡町からの報告**

西田英雄(村岡町福山区長)

**大分県久住町からの報告**

山田朝夫(久住町理事・企画調整課長)

**群馬県湯ノ丸からの報告**

戸部 勝(嬭恋村文化財専門委員)

**大阪府岩湧山からの報告**

大窪久美子(信州大学農学部助教授)

**シンポジウム「草原の意義と生業による維持保全管理」**

山口カ男(阿蘇百姓村村長)・竹田津実(写真家・エッセイスト)・大久保忠旦(茨城大学理学部教授)・川村孝信(放牧実践農家)・中越信和(広島大学総合科学部教授)・瀬田信哉((財)自然公園美化管理財団専務理事)

**閉会挨拶：**澄田信義(島根県知事)

### サミット出席者(所属等)

澄田信義(島根県知事)・久保幸雄(小清水町助役)・唐沢忠夫(嬭恋村課長)・伏谷勝博(河内長野市助役)・大江教貳(頓原町助役)・安田増憲(温泉津町助役)・古木和男(西ノ島町助役)・家中安治(知夫村村長)・清水武人(美東町助役)・栗田正熙(秋芳町課長補佐)・本郷幹雄(久住町助役)・熊谷國彦(大田市長)

**主催：**草原サミット'97実行委員会

**事務局：**緑と水の連絡会議<<http://www.iwami.or.jp/ohgreen/>>

## 第5回全国草原シンポジウム・サミット in 阿蘇

—千年先に向けて今できること—

開催日：2002年3月15日～17日 開催地：熊本県阿蘇郡

### シンポジウム

**基調講演：**阿蘇草原の復活に向けて—草原の多面的価値と新しい活用の方向—

高橋佳孝((独)農林水産省近畿中国四国農業研究センター畜産草部)

**各地の報告：**

**第2回草原シンポジウムサミットが三瓶にもたらしたもの**

高橋泰子(島根県大田市 緑と水の連絡会議)

**復活した安家森かぬか平の林間放牧—短角牛によるふるさとの森の景観保全への取り組み—**

嘉村明美(岩泉町 安家地区活性化推進協議会自然部会)

**第1分科会「草原の活用活性化への新たな取り組み」**

園田 盡(木落牧野組合長)・山本嘉人(九州沖縄農業研究センター)

**第2分科会「このままじゃ牛もおらん 人もおらん！」**

徳野貞雄(熊本大学文学部教授)・井 信行(元上田尻牧野組合長)・若井康彦(地域計画研究所)

**第3分科会「パートナーシップによる草原の維持」**

山内康二((財)阿蘇グリーンストック専務理事)・

中川利美(熊本県畜産農業協同組合副組合長・理事)

**第4分科会「考えよう！草原の様々な機能と利用」**

松崎誠司郎(環境省自然保護局九州自然保護事務所長)・小笠原徹朗(阿蘇町観光協会会長)

**第5分科会「草原に関する行政の取り組み」**

浦田保憲(阿蘇地域振興局農業振興課)・山田朝夫(久住町理事)・村中正義(秋芳町観光商工課)

### サミット出席者(所属等)

河崎教夫(阿蘇町長)・宮崎暢俊(小国町長)・河津修司(南小国町長)・市原 新(浪野村長)・加藤義明(西原町長)・坂元英俊((財)阿蘇地域振興デザインセンター事務局長)

**主催：**第5回全国草原シンポジウム・サミット実行委員会

**事務局：**(財)阿蘇グリーンストック<<http://www.aso.ne.jp/~green-s/>>

## 第6回全国草原シンポジウム・サミット in 霧ヶ峰

—心に残る草原を将来へ—

開催日：2003年10月11日～13日 開催地：長野県諏訪市

### シンポジウム

**基調講演：**「霧ヶ峰の今、昔」

鮎沢三千穂(諏訪市教育委員会 諏訪市文化財審議委員)

**シンポジウム分科会：**

**第一分科会「野火と草原の多面的な価値」**

**コーディネーター：**鬼頭秀一(恵泉女学園大学人文学部人間環境学科)

**発表：**両角勝利(柏原財産区総代)・宮坂直木(小和田牧野農業協同組合霧ヶ峰部長)・西村 格((財)日本自然保護協会参与)

**第二分科会「住民の暮らし・産業と草原」**

**コーディネーター：**小口武男(高島産業株式会社代表取締役社長)

**発表：**足助今朝男(諏訪市生活環境課長)・立木正純(霧ヶ峰文化の会)・土橋潤二(舞姫酒造株式会社代表取締役、諏訪酒造協会)・長内健一(霧ヶ峰ネットワーク)

**第三分科会「来訪者と草原」**

**コーディネーター：**油井正昭(桐蔭横浜大学工学部)

**発表：**前田正尚(日本政策投資銀行)・竹内毅(霧ヶ峰高原ガイド組合組合長)

宮澤賢治(長野県生活環境部環境自然保護課課長補佐兼自然保護係長)

**シンポジウム分科会報告**

**コーディネーター：**瀬田信哉(財団法人国立公園協会理事)

### サミット出席者(所属等)

本郷幹雄(久住町長)・清水武人(美東町長)・小松千章(諏訪市助役)・山内康二(阿蘇グリーンストック専務理事)・阿座上亮(とつてもゆかいな秋吉台ミーティング)・高橋泰子(NPO 法人水と緑の連絡会議理事長)・徳永 巧(真庭遺産研究会事務局)

**主催：**第6回全国草原シンポジウム・サミット in 霧ヶ峰実行委員会

**事務局：**霧ヶ峰ネットワーク<<http://homepage2.nifty.com/kiri-net/>>

## 野焼きシンポジウム・イン・小清水 第3回全国草原サミット

—草の言い分、花の言い分、人の言い分—

開催日：2000年6月23日～25日 開催地：北海道小清水町

### シンポジウム

**開会挨拶**：竹田津 実(実行委員長) **歓迎挨拶**：河合 淳(小清水町長)

**基調講演**：火遊びは楽しい？

辻井達一(北星学園大学教授)

**各地からの報告**：

小清水原生花園での取り組み

津田 智(岐阜大学助教授)・富士田裕子(北海道大学助教授)・北陽小学校児童

箱根町仙石原での取り組み

井上香世子(箱根町立箱根湿生花園)

ナイジェリア石像遺跡に及ぼす森林火災と野火の影響

高橋英紀(北海道大学教授)

インドネシアの熱帯泥炭湿地の森林火災と消火活動

アスウィン・ウスブ(インドネシア バランカラヤ大学講師)

**シンポジウム**：「草の言い分、花の言い分、人の言い分」

山田朝夫(大分県久住町理事)・高橋佳孝(農水省中国農業試験場主任研究官)・鍛冶哲郎(環境庁東北道地区自然保護事務所長)・五十嵐智嘉子((社)北海道開発問題研究調査会理事)・

瀬田信哉((財)自然公園美化管理財団専務理事)

**特別講演**：「自然の中の動物たち—ものまねと楽しいお話」

江戸家子猫(タレント)

### サミット出席者(所属等)

渡辺 葵(網走市経済部長)・午来 昌(斜里町長)・橋場 博(清里町長)・津坂和己(東藻琴村助役)・三條幸夫(女満別町経済振興課長)・菅原 武(美幌町民生部長)・工藤一義(津別町助役)・堂前正敏(長沼町助役)・皆田修司(大田市経済部長)・中原誠次(秋芳町助役)・清水武人(美東町町長)・山田朝夫(久住町理事)・河合 淳(小清水町町長)

**主催**：野焼きシンポジウム・イン・小清水実行委員会

**事務局**：小清水町企画課

## 秋吉台草原シンポジウム 2001 ・全国野焼きサミット in 秋吉台

—今、草原に必要なこと—

開催日：2001年2月16日～18日 開催地：山口県秋吉町

### シンポジウム

**開会挨拶**：阿座上昌亮(実行委員長) **歓迎挨拶**：上利礼昭(秋吉町長)

**基調講演**：秋吉台の山焼き - 自然の活用と保護をめぐって -

庫本 正(秋吉台科学博物館長)

**第一分科会**「観光と保全」

松原峯夫(秋吉町わくわく村村長)・浦田健作(平尾台の自然を考える会)・春野義一(防長交通株式会社観光部長)・佐藤 誠(熊本大学法学部教授)

**第二分科会**「生態系と保全」

塩谷信夫(秋吉台パークボランティアの会)・武次房江(ナチュラリスト)・弘蔵岳久(坊がつる野焼き実行委員会会長)・藤井宏志(山口県畜産試験場)・高橋佳孝(中国農業試験場主任研究官)

**第三分科会**「なりわいと保全」

山内康二((財)阿蘇グリーンストック専務理事)・大滝典雄(環境省自然公園指導員)・川村孝信(西の原牧野組合組合長)・佐藤隆幸(久住町稲葉牧野組合)・宇佐見晃一(山口大学農学部助教授)

**シンポジウム**：「今、草原に必要なこと」

宇佐見晃一・佐藤 誠・高橋佳孝・田村昭雄(地元関係者代表)・小川全夫(九州大学大学院人間環境学研究院教授)・瀬田信哉((財)自然公園管理財団専務理事)

### サミット出席者(所属等)

阿部潤一(小清水町企画振興課長)・野辺修光(串間市市長)・平田徳和(曾爾村収入役)・小竹伸夫(美祿町助役)・松村淳真(大田市商工観光課長)・清水武人(美東町町長)・川越賢一(久住町商工観光課長)・上利礼昭(秋吉町町長)

**主催**：秋吉台草原シンポジウム・サミット実行委員会

**事務局**：とつてもゆかいな秋吉台ミーティング

## 第7回全国草原サミット・シンポジウム in 大山麓山

—草原・牧野から大山・麓山麓の景観と環境保全を考える—

開催日：2005年11月11日～13日 開催地：鳥取県江府町・岡山県真庭市

### シンポジウム

■11月12日

**開会挨拶**：日置佳之(鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター)

**来賓挨拶**：竹内敏夫(江府町長)

**大山の環境紹介**：遠藤勝壽(大山自然公園指導員の会)

**全国草原地域からの調査および活動報告**

小谷元伸(江府町文化協会理事)・芦立敏一(麓山エコツーリズム推進事業実行委員会)・栗原雅博(千葉大学・院・自然科学研究科)・小串重治(総合科学(株))・高橋佳孝((独)近畿中国四国農業研究センター)・山内康二((財)阿蘇グリーンストック専務理事)・白川勝信(芸北高原の自然館)・塩坂邦雄(東伊豆パラグライダークラブ)・阿座上昌亮(とつてもゆかいな秋吉台ミーティング会長)・谷 幸三(奈良県自然保護協会事務局)

**基調講演**：「草原風景と火山景観の魅力」

ブライアン・ウィリアムス(風景画家)

**パネルディスカッション**：草原・牧野の魅力を活かしたエコツーリズム

塩坂邦雄・ブライアン・ウィリアムス・山内康二・矢藤益美(カメラマン)・鳥取県デザイナー協会理事)・山田信光(麓山エコツーリズム推進事業実行委員会会長)・日置佳之

■11月13日

**基調講演**：「草原地域における生物多様性保全」高橋佳孝

**麓山大山地域での調査研究活動報告**：

佐野淳之(鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター)・山中和典(鳥取大学乾燥地研究センター助教授)・岡本宗裕(鳥取大学農学部助教授)

**意見交流会**：(司会)：佐野淳之)

**開会挨拶**：谷 幸三

**主催**：真庭遺産研究会、晴れの国野生生物研究会、鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター

**事務局**：真庭遺産研究会<<http://www.net626.co.jp/kusa/kusa263.htm>>

## 第8回全国草原サミット・シンポジウム(北広島)

—草原を核とした豊かな里づくり—

多様な人と生き物が集う新田園空間

開催日：2009年9月26日～28日 開催地：広島県山県郡北広島町

### シンポジウム

**基調講演**：コウノトリと共に生きる—豊岡の挑戦—

中貝宗治(兵庫豊岡市長)

**各地からの実践報告**

飯田高原における野焼き文化の継承と地域づくり

高橋裕次郎(飯田高原野焼き実行委員会)

群馬県みなかみ町「上ノ原入会の森」における、草原保全の多面的取り組み

浅川 潔(森林塾青水事務局長)

北広島町芸北地域における草原保全活動

川内信忠(八幡地区地域振興協議会長)

**第1分科会** 全国子ども草原サミット

**座長**：淀刈可菜(雲月小学校児童会長) **主催**：雲月小学校

**第2分科会** 西中国山地の魅力—登山と草原—

**座長**：野島信隆(広島県山岳連盟普及部長) **主催**：広島県山岳連盟・(社)日本山岳会広島支部

**第3分科会** 草原と暮らす、私たちの未来

**座長**：宮本裕之(雲月山活性化協議会事務局) **主催**：八幡高原地域振興協議会・雲月地区地域振興協議会・西日本草原研究グループ

**全体討論会**

**座長**：高橋佳孝(全国草原再生ネットワーク会長)

**パネラー**：淀刈可菜・野島信隆・宮本裕之・中越信和(広島大学教授)

### サミット出席者(所属等)

竹下正彦(北広島町長：議長)・竹内敏朗(江府町)・竹腰創一(大田市)・小坂眞治(安芸太田町)・永尾宗忠(九重町副町長)・河津修司(阿蘇市町村会長、南小国町長)

**主催**：草原サミット・シンポジウム実行委員会

**事務局**：北広島町役場 企画課 地域振興係<<http://www.town.kitahiroshima.lg.jp/>>

# 全国草原再生ネットワークが目指す未来

草原の価値が見直されつつあります。

農業や生活のための資源としての価値だけでなく、環境保全、環境教育、福祉、農村の文化、生物の多様性など、様々な観点からたくさんの人たちが草原に関わりを持つようになってきました。農業従事者、研究者、観光業者、あるいは一般市民など、色々な人たちが「野焼きができなくなっている」、「草原が減ってきている」という危機感を、それぞれの立場で感じています。しかし、草原の価値が多様であるほどに、それをとりまく様々な課題も生じているのです。



そうした草原がかかえる問題を明らかにし、日本各地の草原を有する自治体間の交流の輪を広げ、連帯を密にしていくという目的のもと、1995年、大分県久住町において初めての「全国野焼きサミット」が開催されました。その後、「全国野焼きサミット」は「全国草原サミット」と改称され、あわせて、市民レベルでの話し合いや情報交換も「全国草原シンポジウム」として続けられてきました。

各地で草原に携わる人達が、7回にわたるサミット・シンポジウムを通じて共有したことがあります。それは、草原を保全し、再生につなげていくためには、全国で草原再生活動を行っている（あるいは行おうとしている）個人・団体の連携を通じて、草原の持っている価値・意義を再評価していくことが不可欠であるということです。

私たち「草原再生ネットワーク」は、草原の地域を越えた連携を通じて、大きく・多様な草原の価値を未来に渡って享受していく、持続可能な社会の形成を目指しています。

## 入会方法

全国草原再生ネットワークの趣旨に同意いただける方は、添付の振込用紙に必要事項をご記入の上、郵便局にて、年会費をお振込み下さい。

	個人会員	団体会員
年会費	3,000円	10,000円
特典	■全国草原ネットホームページへの情報登録 ■会員用メーリングリストでの情報交換 ■全国草原ネットのニュースレターを送付 ■全国草原ネットの総会における議決権	

- ※ 入金確認後に会員として登録いたします。
- ※ 会費会計年度は毎年4月1日から3月31日までです。入会時に一括納入とし、途中退会時の返金はいたしませんのでご了承ください。
- ※ お振込料は当ネットワークで負担いたします。

## 役員

- 【会長】 高橋 佳孝（近畿中国四国農業研究センター）
- 【副会長】 山内 康二（(財)阿蘇グリーンストック）  
阿座上 昌亮（とつてもゆかいな秋吉台ミィーテング）
- 【理事】 笹岡 達男（(財)休暇村協会）  
山田 朝夫（愛知県安城市）  
白川 勝信（芸北 高原の自然館）  
熊田 章子（霧ヶ峰ネットワーク）  
塩坂 邦雄（(株)環境アセスメントセンター）  
高橋 泰子（NPO 法人 緑と水の連絡会議）
- 【監事】 徳永 巧（真庭遺産研究会）  
国安俊夫（自然観察指導員）

（2009年7月1日現在）



全国草原再生ネットワーク

<http://sogen-net.jp/>